



Sasayama Elementary School

# 学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成29年11月30日発行

平成29年度 第8号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

## みんなちがって、みんないい

学校長 三瓶 徹

校庭の木々の葉が色づき、秋の深まりを感じていたところ、急な冷え込みとともに師走がやってきました。寒気が次第に強く、日も短くなり、追われるように日々が過ぎる月となります。街の中では随所にイルミネーションが輝き、年の瀬を感じさせる季節となっていることに気がきます。子どもたちは、この寒さに負けることなく元気に過ごしております。

11月11日（土）に、入学式、ササリンピック、卒業式に並ぶ四大大行事の一つ、ミュージックフェスティバルが行われ、子どもたちのすばらしい歌声がこの笹山の丘に響き渡りました。多くの地域の方、保護者の方からお褒めの言葉をいただき、子どもたちの励みになりました。また、13日（月）は日産スタジアムを会場で行われた横浜市立小学校体育大会に6年生が参加し、他校の6年生と一緒に演じたり、走ったりと充実した1日を過ごしました。そして17日（金）は、3、4、5年生が保土ヶ谷区小学校音楽会に出演し、立派に演奏と合唱を行い、練習の成果を存分に発揮しました。

どの行事も、一人ひとりの個性を発揮しながら、すばらしいものにしてくれました。得手、不得手を気にすることなく、それぞれのよさを認め合い、みんなで協力しようとする姿はとても立派だったと思います。そんな中、ある詩を思い出しました。

わたしと小鳥とすずと

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、

とべる小鳥はわたしのよう、地べたをはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、

あの鳴るすずはわたしのよう、たくさんのうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

「金子みすゞ」さんの詩です。1903（明治36）年に山口県に生まれ、有名な童謡詩人の西條八十（さいじょうやそ）に「若き童謡詩人の巨星」とまで賞賛されながら、1930（昭和5）年26歳の若さで世を去りました。みすゞさんは、幼い頃から周囲に優しく、礼儀正しくて、いつも笑顔を絶やさなかったそうです。その優しさから、いろいろなものを感じて、深く考えるなかで、すばらしい独自の詩を書き続けたのだと思います。この詩のなかに出てくる「みんなちがって、みんないい」という言葉のとおり、一人ひとりよさがあり、自分自身を大切に生きていってほしいということです。

12月10日は、「世界人権デー」と定められています。本校でも、4日から10日までを人権週間とし、人権についての学習を深めます。さらに楽しい学校生活を築くために、自分を大切にする心と、相手を大切にすることを、毎日の活動に励んでほしいと思います。